



青年期の心理とポップカルチャー 趣味の話題を活用した学生相談

総合教育センター

講師 笹倉 尚子（ささくら しょうこ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 2246号室
Tel 082-251-5178 (代表) Fax 082-251-9405 (代表)
E-mail ssakura@pu-hiroshima.ac.jp
※@は半角に置き換えて下さい

専門分野： 臨床心理学

キーワード： 深層心理学、学生相談、ポップカルチャー

● 現在の研究について

私はこれまで臨床心理士として、大学の学生相談室や精神科クリニックに勤務してきました。それらの臨床実践のなかでも、特に思春期・青年期の心理に関心を持ち、研究を続けています。

カウンセリングでは、心の悩みだけが語られるわけではありません。思春期・青年期の人々のなかには、自分の趣味（たとえば好きな漫画やアニメ、ゲームやライトノベル）について教えてくれる人がいます。時にはそうした趣味の話をしているうちに、自分のやりたいことを見つけたり、いつの間にか当初の悩みが気にならなくなったり、相談する人自身が大きく成長している、といったことも起こります。こうした事例に出会うなかで、私はカウンセリング場面で趣味について語るという行為がもつ意味について考え、研究対象とするようになりました。

以前から、カウンセリング場面における趣味の話題には相談する人自身の内面がよく表れているということが指摘されています。現代日本においては、アニメやゲームといったポップカルチャーがあふれ、インターネットやスマートフォンの普及がそれに拍車を駆けています。多様化する趣味について、それらを心の健康に活かす手立てを探すために臨床実践の経験を積み、これまでに「学生相談における趣味の話題に関する一考察：発達障害学生によるゲームの話題に着目して」（学生相談研究, 39, (1), pp. 14-24, 2018年）といった論文を発表しています。

● 今後進めていきたい研究について

私の現在の臨床実践のフィールドは大学生のカウンセリング、学生相談です。一般に青年期には、自分がどういう人間なのか、これからどのように生きていくのかといった「アイデンティティの形成」が心理的な課題の一つであるとされます。しかしながら、多様な価値観が混在する現代社会において、その作業は決して容易ではありません。そのようななかで、相談する人から語られる「好きなもの」の話題は、その人を励まし、方向付けるための重要な資源となると考えられます。

現在私は、カウンセリング場面でカウンセラーが学生の趣味の話題をどのように扱うことが有効な心理支援につながるのかについて、**カウンセラーへのインタビュー調査**を行っています。今後はそれらの結果を踏まえて、趣味の話題を活用した心理支援モデルを構築することを目指しています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

中四国の他大学の学生相談担当者との情報連携等を通して、青年期・大学生のメンタルヘルスを中心に、地域社会における心の問題や発達・健康上の問題の改善に広く貢献できればと考えています。

● これまでの連携実績

平成30年度第2回広島県西部教育事務所管内事務長会において、「若者の心に何が起こっているのか？社会の一步手前の学生相談室から見えるもの」というテーマで講演をさせていただきました。